

第 25 回環境化学討論会のお知らせ

- ☆主 催 一般社団法人日本環境化学会
- ☆会 期 2016 年 6 月 8 日(水)～6 月 10 日(金)
(初日は 12 時から受付、13 時から開催となります。)
- ☆会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6-1
アクセス情報 <http://www.tokimesse.com/visitor/access/>
- ☆連 絡 先 第 25 回環境化学討論会事務局
〒956-8603 新潟市秋葉区東島 265-1
新潟薬科大学応用生命科学部 環境工学研究室
E-mail: touren25@nupals.ac.jp
- ☆発表形式 口頭発表及びポスターセッションで行います。口頭発表は原則として、PC プロジェクターを使用します。口頭発表ファイルは、会期中に会場にて USB メモリーで受け付けます。国際セッションで講演する研究者は、日本語ではなく英語の要旨を提出してください。
- ☆内 容 大気、水質、土壌、生物、廃棄物、食品、生活用品などの分野で、動態、分析、反応、物性、毒性、衛生、処理、情報、観測などの観点から、化学物質による汚染や環境計測・保全・改善等に関する研究発表を対象とします。
- ☆発表時間 口頭発表は 1 演題あたり 15 分(発表時間 11 分、質疑・応答・交代 4 分)
国際セッションは 1 演題あたり 20 分(発表時間 15 分、質疑・応答・交代 5 分)
ポスター発表は 90 分(コアタイム)
- ☆申込方法 参加申込及び講演申込、講演原稿提出は、インターネットでお願いします。(講演申込は 3 月 18 日まで)学会ホームページ(http://www.j-ec.or.jp/top_page.shtml)の「第 25 回環境化学討論会」(<http://www.j-ec.or.jp/conference/25th/index.html>)内に記載される申込方法にしたがい手続きしてください。講演申込者も参加申込、参加費が必要です。 郵送・FAX による申込は行っておりませんのでご注意ください。討論会事務局からの連絡はメールで行います。

- ☆**申込期限**
- 1) 講演申込 3月18日(金)
 (登録内容、講演概要は4月18日まで修正可能)
- 2) 講演要旨原稿提出 4月18日(月)
- 3) 事前参加申込 4月22日(金)
- 4) 事前参加費振込 4月29日(金)
- 5) 当日参加申込 当日会場で受付けます。
- 6) 発表用メディア 当日会場で受付けます。

注) 期限後の申込・振込手続き等は受付けません。

☆**参加費** 参加費は以下の通りです。下表を参照して、合計金額をお振込下さい。(会員は不課税、非会員は課税対象。プログラム集を含む。交流会費は課税対象です。)交流会のみの参加は受付けません。また、フリーミキサー・自由集会への参加も討論会参加者(参加費納入者)に限らせて頂きますので参加登録をお願い致します。本年度は参加費の支払い方法及び学生の参加費が変更になっておりますのでご注意ください。

分類 費用	一般参加者		学生参加者	
	会員	非会員	会員	非会員
事前登録参加費	8,000円	13,000円	0円	5,000円
当日参加費 ^{※1}	10,000円	15,000円	0円	5,000円
交流会費(事前)	8,600円	9,000円	3,200円	3,200円
交流会費(当日) ^{※1}	9,500円	10,000円	4,500円	4,500円

※1) 4月23日(土)以降受付した場合(当日受付も含む)の金額。

本大会では2日目夜に交流会を実施いたします。交流会のみの参加は受付けません。

学生参加者の参加費について： 今年は学生会員の参加費を無料とし、非会員学生の参加費を当学生会員の年会費と同額の5,000円にいたしました。学生のみなさまには是非、日本環境化学会へご入会のうえ学会員として参加いただきたいと思いますと考えております。参加申込みの前には是非当会HPから (<http://www.j-ec.or.jp/info/nyukai.html>) ご入会ください。

◎ 事前支払いの方法：

4月29日(金)までに第25回環境化学討論会ホームページ内の「参加登録」ページ(日本旅行のシステム)に記載の方法に従って、払い込みを行ってください。本討論会では、ゆうちょ銀行(口座番号00600-6-11388、口座名 ㈱日本旅行新潟支店 ※ATM 記入例:カ)ニホンリョコウニイガタシテン)の他にクレジットカード払い、コンビニエンスストア払いが利用できます。振込手数料は各自ご負担ください。**振込期限 4月29日(金)後の振込は事前参加登録済みでも当日受付扱いになりますのでご了承ください。**

☆講演要旨集 講演要旨集は、学会ホームページに掲載するダウンロード版を事前に入手の上、必要な部分を印刷持参されることをお勧めいたします。参加費振込後、参加確認書とともにお知らせするパスワードを入力し、HP 上からダウンロード・印刷等をお願いします。当日はダウンロードが混み合う可能性がございます。会場にはプリントサービスはございません。

☆託児施設 お子様を連れて参加される方のために、保育室・保育士派遣をご用意する予定です。事前の手续が必要となりますので、必ず4月22日(金)までに第25回環境化学討論会事務局(touron25@nupals.ac.jp)に御連絡の上、参加登録ページにてご登録下さい。事前にご用意頂く書類など、詳しい情報をお知らせします。

場所： 朱鷺メッセ内 小会議室 204

期間： 2016年6月8日(水)～6月10日(金)

受入可能時間： 9:30～17:00

保育士派遣業者： 株式会社 POPO URL: <http://www.po-po.net/>

☆第25回環境化学討論会実行委員会 (敬称略・五十音順)

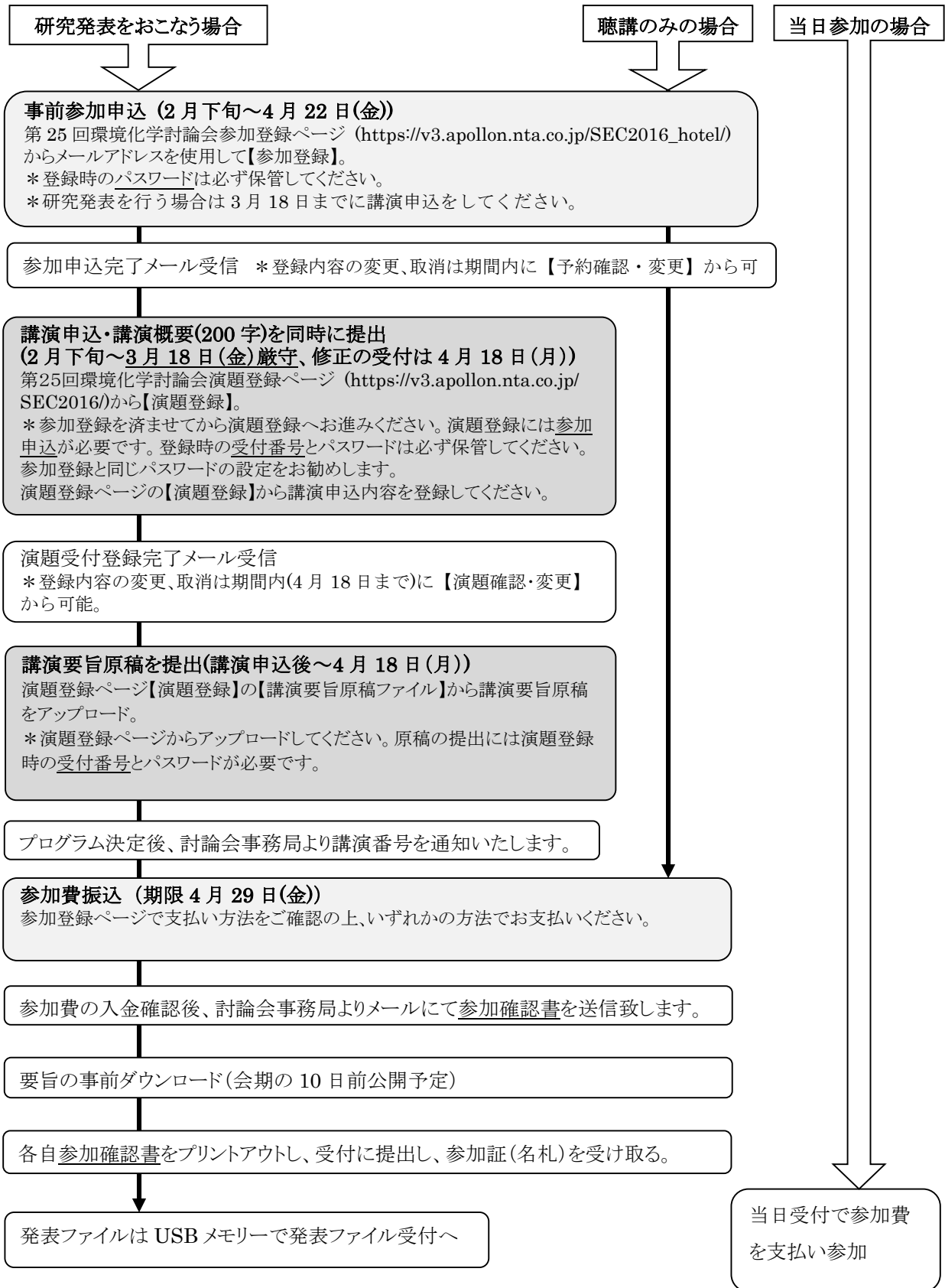
実行委員長： 川田 邦明

実行副委員長： 大泉 毅、小瀬 知洋、高菅 卓三、中野 武

顧問： 白石 不二雄、皆川 新一

実行委員： 秋葉 善弥、荒井 豊明、今泉 圭隆、岩元 寛司、大嶋 敏樹、大橋 眞、梶原 夏子、金丸 新、狩野 直樹、神田 広興、菊池 貴也、国見 祐治、黒瀬 航、佐藤 克久、鈴木 剛、清家 伸康、多菊 太郎、田部井 昭子、東郷 健太郎、遠井 享二、中島 大介、中林 豊、西島 功、西島 宏和、則末 和宏、原田 修一、馬場 啓之、藤峰 慶徳、牧 重明、松岡 史郎、松村 徹、水戸部 英子、ミランダ 和美、村山 等、家合 浩明、山本 貴士、渡辺 雅史、渡邊 幸久

【 第 25 回環境化学討論会の参加申込・講演申込手順 】



＜企画行事の概要＞

諸事情によりプログラムの内容、時間と会場は変更になる場合があります。詳細は学会ホームページ上で随時お知らせします。

☆社員総会 日 時：2016年6月9日(木) 9:00～9:30
会 場：A会場(国際会議場)

☆特別講演 日 時：2016年6月10日(金) 9:00～10:00
会 場：A会場(国際会議場)

講演内容

アジア大気汚染研究センター 所長 坂本 和彦 先生

第25回環境化学討論会開催地の新潟にありますがアジア大気汚染研究センター所長の坂本和彦先生に「微小粒子状物質(PM2.5)の現状－組成と対策－」と題したご講演をいただきます。

☆日本環境化学会 25周年記念講演

日 時：2016年6月9日(木) 13:50～16:45

会 場：A会場(国際会議場)

講演内容

- ① 一般社団法人日本環境化学会 名誉会長 森田 昌敏 先生

四半世紀にわたって本会活動を先導していただいた森田名誉会長に、環境化学分野における25年間の変遷と本会の持続的な環境と社会の構築への貢献を目指して、学問分野としての環境化学のさらなる構築、発展について、ご講演いただきます。

- ② Dr. Werner Brack, Head of Department, Department Effect-Directed Analysis, Helmholtz Centre for Environmental Research

欧州の河川水中の化学物質の網羅分析と毒性の網羅評価を組み合わせた Solutions Project(<http://www.solutions-project.eu/>)のコーディネーターを勤める Helmholtz Centre for Environmental Research の Werner Brack 博士にご講演いただきます。

- ③ パネルディスカッション

環境化学分野の若手研究者に今後の環境化学分野と本会が取り組むべき目標についてご提案頂き、森田名誉会長および Werner Brack 博士にご参加いただいたパネルディスカッションを予定しております。

☆受賞式・受賞講演

日 時：2016年6月9日(木) 17:00～18:30

会 場：A会場(国際会議室)

日本環境化学会賞(功績賞、学術賞、論文賞、技術賞、有功賞)および高校環境化学賞の授賞式の後、功績賞、学術賞受賞者による受賞講演がおこなわれます。

☆ポスター発表 コアタイム：奇数番号 6月8日(水) 17:00～18:30 ※学生賞審査を含む

偶数番号 6月9日(木) 11:00～12:30 ※高校環境化学賞受賞校を含む

会 場：ポスター発表会場(メインホール)

☆一般口頭発表 日 時：2016年6月8日(水)、6月9日(木)、6月10日(金)

会 場：A,B,C,D,E,F会場(予定)

A会場(国際会議場), B会場(中会議室 201), C会場(中会議室 301), D会場(中会議室 302B), E会場(中会議室 302A), F会場(小会議室 303+304)

☆国際セッション 日 時：2016年6月8日(水)、6月9日(木)、6月10日(金)

会 場：C会場(予定) 中会議室 301

海外から研究者を招へいし、英語による口頭発表を行います。国内の留学生や英語での発表を希望する日本人学生、ポスドクター、研究員の発表もあります。(一般講演とは、発表言語、発表時間が異なりますのでご注意ください。)

☆学 生 賞

口頭発表を予定している博士前期課程(修士)および後期課程(博士)の学生(社会人大学院生は除く)を対象に、応募者の中から審査により学生賞を授与します。詳細は<学生賞について>をご覧ください。

本年度は SETAC ジャパン(Society of Environmental Toxicology and Chemistry, Japan)の協力による賞、英国王立化学会(Royal Society of Chemistry)の協力による賞の授与も企画しております。これらに関する詳細な情報は追ってホームページ上でお知らせします。

☆自由集会 日 時：6月8日(水) 18:30～20:00

詳細は「自由集会のご案内」をご覧ください。

☆フリーミキサー

自由集会と同時間帯にポスター会場やロビーを開放いたします。ポスター発表時間ではし尽くせなかった議論を心おきなくお楽しみください。

以上の最新企画情報などは、第25回環境化学討論会のホームページに掲載いたします。

☆交 流 会 日 時 : 6 月 9 日(木) 19:00~21:00
場 所 : ホテル日航 4F「朱鷺の間」※朱鷺メッセに隣接
(〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島 5 番 1 号)
アクセス : <http://www.nikkoniigata.com/access/>
会 費 : 一 般 会 員 8,600 円 (当日 9,500 円)
一般非会員 9,000 円 (当日 10,000 円)
学 生 3,200 円 (当日 4,500 円)

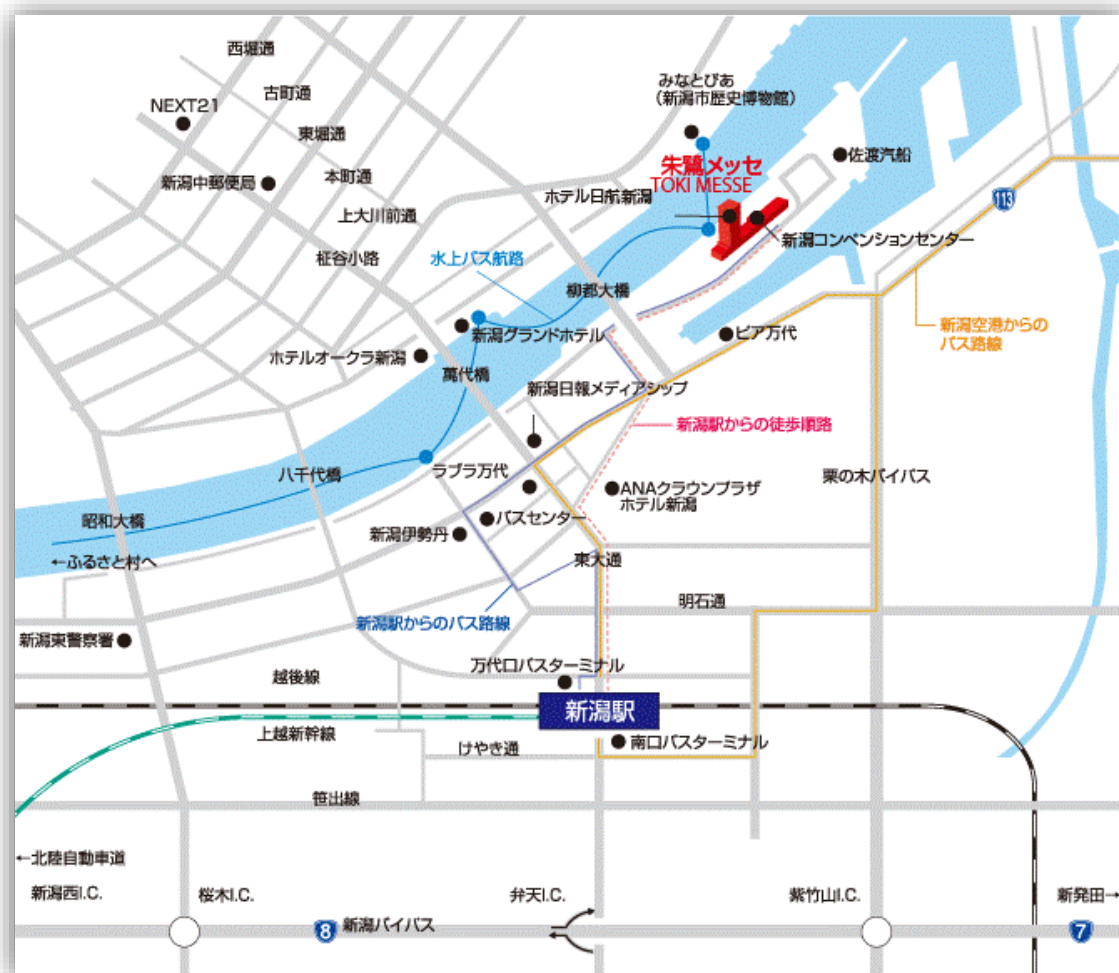
☆ランチョンセミナー 日 時 : 6 月 9 日(木) 12:40~13:40 / 6 月 10 日(金) 12:15~13:15
詳細は学会ホームページ上で随時お知らせします。

☆展 示 会 企業の製品及び技術、書籍、研究機関及び大学等を PR する場として、カタログ及び資料類などの展示会を開催します。昨年度に引き続き、スタンプラリーも開催しますので、奮ってご来場ください。
日 時 : 2016 年 6 月 8 日(水)、6 月 9 日(木)、6 月 10 日(金)
会 場 : メインホール

☆就 活 コーナ- 詳細は追って学会ホームページ上でお知らせいたしますので、学生参加者の皆様は奮ってご参加ください。

<交通アクセス>

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター



〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号

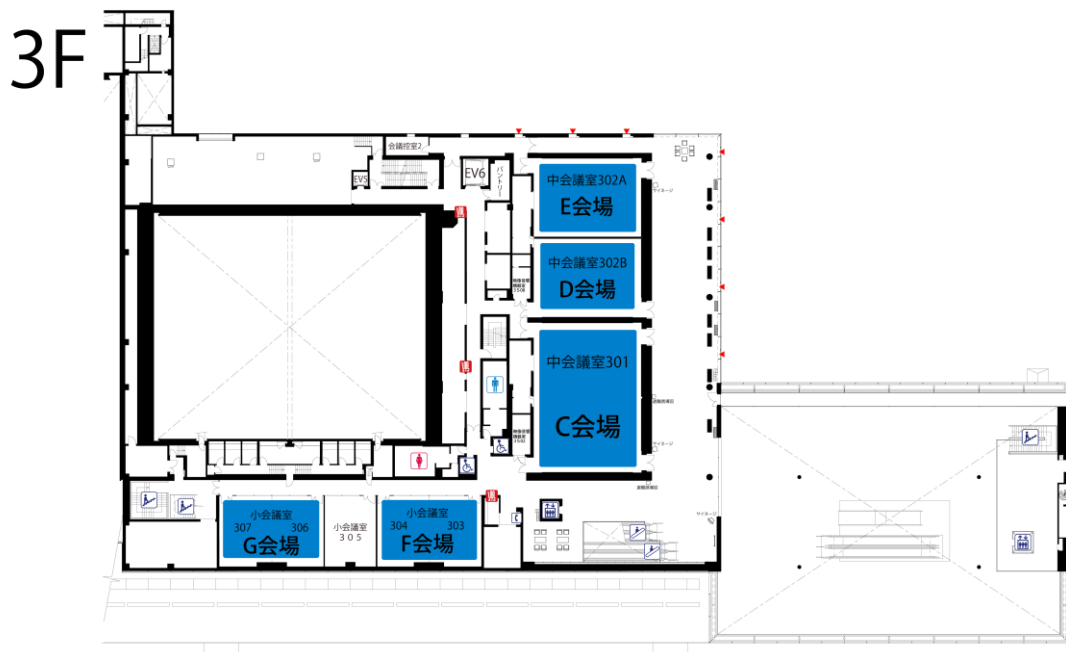
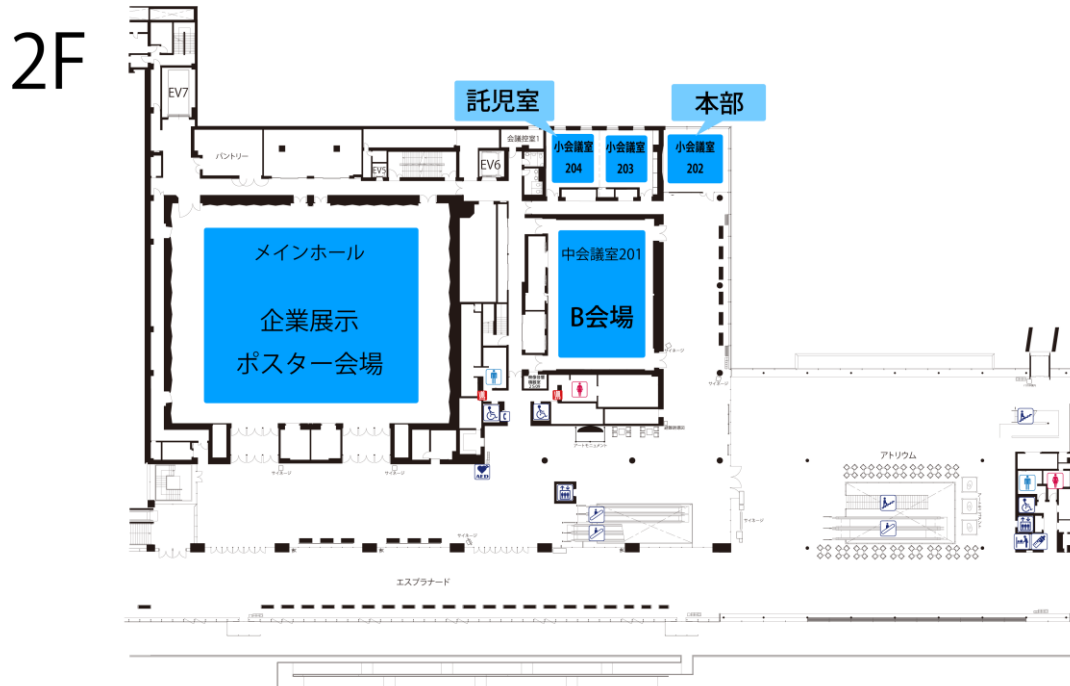
アクセス情報 <http://www.tokimesse.com/visitor/access/>

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

JR 新潟駅から路線バスで 15 分(佐渡汽船行 朱鷺メッセ下車)、タクシーで 5 分、徒歩で 20 分程です。新潟空港からはタクシーで 20 分程度、リムジンバスを利用される場合は新潟駅を經由してお越しください。

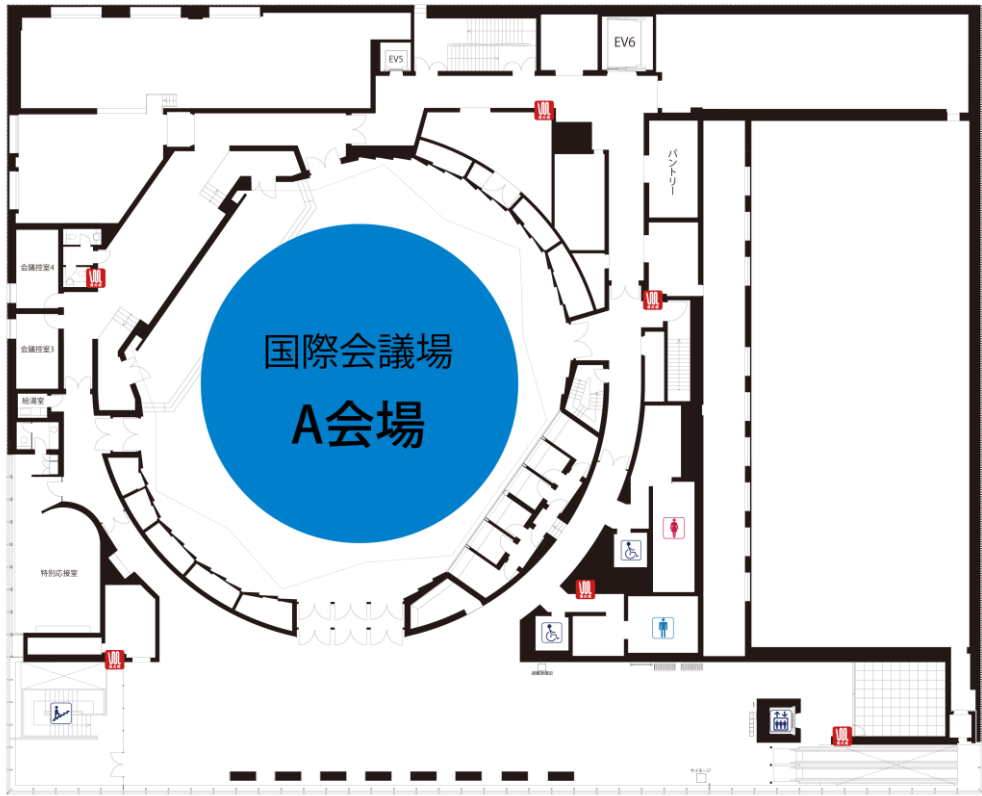
<会場案内>

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター



- サイネージ
- バスル
- ♿ トイレ
- ♿ 車椅子対応トイレ
- ♿ 非常出入口
- 階段
- エスカレーター
- エレベーター
- 喫煙所
- 公衆電話
- 消火柱
- 非常階段
- 自動販売機

4F



<自由集会のご案内>

日時：6月8日(水) 18:30～20:00 (1日目)

1. 自由集会のテーマ募集中 (〆切 4月15日)

講演会場で特定の話題で集まり相談・議論できる場(自由集会)の提供をいたします。若手による企画、放射能問題、新たな化学物質汚染など、今後の環境化学研究を活発にできるような熱い企画をお待ちしております。自由集会の開催をご希望の方は以下の情報を第25回討論会事務局へ、4月15日までにお送り下さい(touoron25@nupals.ac.jp)。

なお、提供できる会場は講演会場ですので、机を移動された場合は現状復帰をお願いいたします。フリーミキサーの飲み物を利用していただいても問題ありません(食べものは提供いたしません)。会場は6つ(共同使用も可)になりますので、先着順で決定させていただきます。

申込先：第25回討論会事務局 (touoron25@nupals.ac.jp)

- 必要な情報：1.自由集会名
2.企画者(またはグループ)
3.担当者連絡先(e-mailと電話)
4.会場の共同使用の可否

2. 自由集会への参加者募集 (第一弾)

自由集会1 「国際的な環境情報の共有」

オーガナイザー：中野武(大阪大学環境安全研究管理センター)

海外の研究者から、世界各地の環境の状況を報告していただきます。学生、若手研究者、留学生の皆さん、英語で自分の研究を紹介してみませんか?いきなり国際会議では、ハードルが高いと思われるあなたも参加してみませんか?

発表時間は3分以内、パワーポイント、スライド3枚で皆さんの研究のエッセンスを紹介してください。6月7日までに、中野宛 (ntakeshi@jrl.eng.osaka-u.ac.jp) にスライド3枚を送ってください。この自由集会を手伝ってみようという方も歓迎です。その旨お知らせください。

自由集会2 「滝上英孝氏追悼シンポジウム」

オーガナイザー：白石不二雄(国立環境研究所)

本学会会員でありました国立環境研究所の滝上英孝博士は、病気療養中のところ、平成27年7月26日に永眠されました。2011年には本学会の環境化学学術賞を受賞されるなど、環境化学分野に多くの業績を残された故人を偲び、追悼シンポジウムを開催します。

日時：6月7日(火) 15:00～17:00

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 306+307 会議室

*本集会は開催日時が他の自由集会と異なりますのでご注意ください。

<学生賞について>

口頭発表を予定している博士前期課程（修士）および後期課程（博士）の学生（社会人大学院生は除く）を対象に、学生賞を授与します。高い評価を得た発表者は、学会2日目夜の交流会に無料招待し、大会実行委員長から賞状と副賞が贈られます。なお、ポスター発表者は学生賞審査にエントリーすることはできません。

1. 学生賞選考の流れ

- 申込み(3月18日 締切り済み)
- ↓
- 講演要旨提出(4月22日締切り)
- ↓
- 講演要旨による1次審査
- ↓
- 1次審査結果の連絡(5月中旬)
- 1次審査通過者はポスターを準備
- ↓
- ポスター発表による最終審査(6月8日 17:00~18:30:学会1日目)
- ↓
- 最終審査結果の発表(6月9日午前:学会2日目)
- ↓
- 受賞学生の表彰(6月9日夜:学会2日目 交流会会場)

2. 表彰

交流会への招待および賞状・副賞の授与(交流会費支払い済みの学生には返金します)。

3. 選考方法

1次審査、最終審査ともに環境化学分野を専門に活動している著名な学会員に審査を依頼する予定です。学生賞の選考基準は以下のとおりです。なお、口頭発表は各セッションで行っていただきますが、公平性の観点から口頭発表内容は審査対象とはいたしません。

- 研究背景・目的・実験方法を適切に記述しているか。
- 十分な結果を得ているか。
- 考察および結論は適切か。
- 図表を含めポスターとしての全体的な完成度は高いか。
- 適切な発表態度であるか。
- 質疑応答は適切か。

＜講演要旨作成要領＞

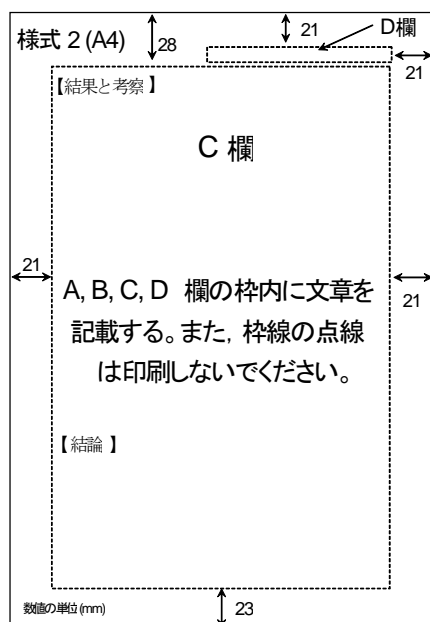
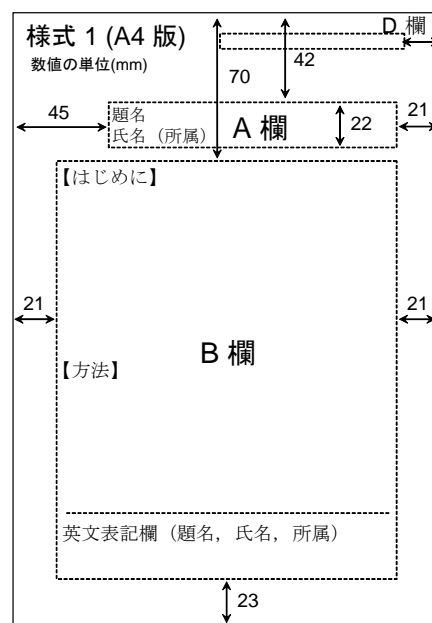
*要旨の提出(アップロード) 期限4月18日(月)の厳守

第25回環境化学討論会ホームページから演題(講演)登録システムに入り、講演申込みと要旨原稿(2p)のPDFのアップロードを行います。講演要旨原稿のアップロードや修正、取り下げ等は4月18日(月)まで、演題登録システムのマイページへログインして行えます。4月18日(月)を過ぎると修正やアップロードはできなくなりますのでご注意ください。アップロードする要旨原稿ファイルは原則PDF形式とし、ファイル名は「演者の氏名.pdf」としてください。(例:「環化花子.pdf」) システムによるファイル送付が困難な場合は、事務局までご連絡ください。

☆ 講演要旨作成マニュアル

図表のタイトルや補足説明については、可能な限り英文で作成してください。各自のワープロソフトを用いて、講演要旨(右図:様式1と2を参照)を作成してください。なお、Microsoft Wordを用いて要旨作成を行う場合は、第25回討論会のHPにある「講演要旨作成要領」から様式セット(1+2)テンプレートをダウンロードし作成してください。要旨はワードファイル作成後、PDFファイルに変換したものをアップロードしてください。

- (A) 用紙サイズ: 縦 297 mm × 横 210mm (A4)、
余白: 様式1と2を参考に余白を設定してください。
- (B) 使用フォント等: 和文フォントは、MS 明朝、MSP 明朝、平成明朝等の明朝体のフォントを使用してください。英文フォントは、Times、Times New Roman、Century、Symbol 等のフォントを使用してください。図表を除く本文中の和文および英文にはゴシック体のフォントの使用は出来るだけ避けてください。また、フォントサイズは 10.5 ~12 ポイント、行送りは 14 ~16 ポイント等の標準書式でお願いします。
- (C) 記入事項: 様式1のA欄には、題名、氏名、所属を記載してください(B欄の下部には英文で表記)。様式1のB欄と様式2のC欄には、目的、方法、結果、考察等を記載してください。また、様式1および様式2の右上のD欄には、口頭発表の方は、[第25回環境化学討論会、登壇者氏名、口頭発表(新潟;2016年)]の様に1行以内(フォントサイズを調整)で記載してください。ポスター発表の方は、上記の[]内の「口頭」を「ポスター」に変えて同様に記載してください。
英文で作成する方は、D欄内に[25th Symposium on Environmental Chemistry, Speaker's name, Oral presentation (Niigata; 2016)]の様に記載してください。登壇者氏名 や Speaker's name とは、実際に、講演要旨の内容を発表・説明する者を指します。
- (D) その他の注意: 文字・画像の網掛け等はずぶれる恐れがありますので注意してください。



<プログラム集用の講演概要作成要領>

*講演概要(200字以内)の入力

当日配布するプログラム集(A4サイズ)には、演題と講演者名および講演概要(200字以内)を掲載します。

講演申込み(3月18日(金)締め切り厳守)の際に演題登録ページ上に入力いただく講演概要(200字以内)はプログラム作成の参考とさせていただくとともに、プログラム集へ掲載する講演概要でもあります。4月18日(月)時点で登録されている講演概要をプログラム集掲載用として使用いたしますので、プログラム集用に修正が必要な場合は、演題登録システムのマイページよりログインし期限までに修正をお願いいたします。講演概要(200字以内)修正期限 4月18日(月)の厳守を合わせてお願いいたします。

<発表方式>

口頭およびポスター発表とします。

☆ 口頭発表マニュアル(一般講演)

(A) 発表時間: 一般講演 11分、質疑応答+発表者の交代 4分を含め計 15分(予定)です。発表時間を超過した場合には、途中で打ち切ることがありますので、ご注意ください。

(B) 発表手順:

1) 発表ファイルの作成方法:

(a) ファイル形式等: 発表用の講演ファイルは以下の当日使用するPCに適合するソフトで作成してください。

学会当日の発表用パソコン: Microsoft Windows® 7, PowerPoint® 2010

ファイルの容量は 10 MB 以下としてください。必ず発表スライドの動作確認を行ってください。動画の動作については保証しかねますのでご了承ください。

(b) ファイル名: 「講演番号_演者の氏名.pptもしくは.pptx」としてください。(例:「1A-1_環化花子.ppt」)

(c) メディア: USBメモリー(特殊なドライバーを必要としない物)を使用してください。

(d) ウイルス対策: 講演ファイルとメディア両方のウイルスチェックを行い、不要ファイルを入れないようお願いいたします。

2) 講演ファイルの受付:

(a) 発表者は、講演ファイルを、USBメモリーにより、発表会場の講演ファイル受付までご持参ください。

(b) 講演ファイルは、午前中発表の場合は当日最初のセッション開始前まで(または直前のセッション時間中)、午後発表の場合は昼休み時間までに、時間の余裕をもって各会場の発表用PCにコピーして下さい。初日(6月8日)は講演ファイル受付が混雑しますので、初日の発表者は早めの受付をお願いします。なお、開催期間中は随時、講演ファイルを受け付けます。

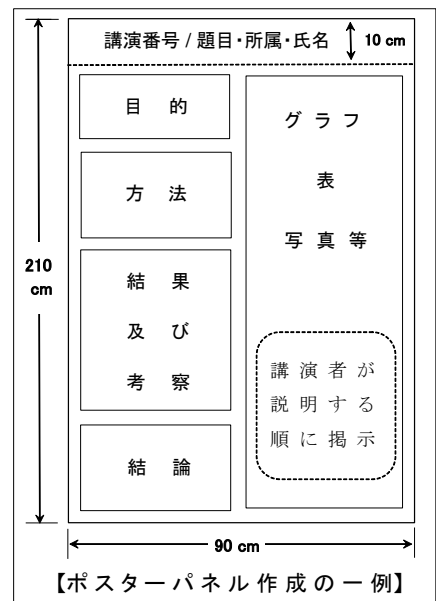
3) 発表方法:

(a) 各講演会場の演台に講演ファイルを読み込んだノートパソコン(OSはMicrosoft Windows® 7、使用ソフトはPowerPoint® 2010)と液晶プロジェクターを設置しますので、講演者自らがノートパソコンを操作し、講演してください。緊急な場合を除き、個人のパソコン持ち込みは、プログラム進行の支障になるため、お受けできません。

(b) 講演ファイルは、大会終了後に、実行委員会が責任を持って消去します。

☆ ポスター発表マニュアル

- (A) ポスターパネルの作成要領: 講演 1 題当たりのポスターパネルの貼付スペースは、(縦 210 cm × 横 90 cm 以内) (右図参照)とします。ただし、パネルの最上部 縦 10 cmの部分には必ず、講演番号、題目、所属、氏名を印刷あるいは記入した用紙を貼ってください。パネルへのポスターの貼付は会場に用意してあるピンを使用し、撤収時に返却してください。
- (B) 当日の受付: 発表者は、持参したポスターを貼り付ける前に、ポスター会場に設置する「ポスター受付」で受付を済ませ、担当者の指示に従ってください。
- (C) 発表手順: コアタイムには、ご自身のポスターの前に立ち、閲覧者からの質疑に対応するよう努めてください。
- 1) 会 場: ポスター会場
 - 2) 貼 付: 6月8日(水)13:00 ~ 6月10日(金)15:00 (3日間)
 - 3) コアタイム: 奇数番号 6月8日(水) 17:00~18:30
偶数番号 6月9日(木) 11:00~12:30
 - 4) 撤 収: 6月10日(金)15:00 までに必ず発表者の責任で撤収してください。



< 討論会における研究発表の特許手続き上の証明について >

本会は特許法第30条第1項の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」に指定されておりますので、本討論会において文書をもって発表し、

(1) Web上で公開した日より6ヶ月以内に(討論会講演要旨集をWeb上で公開した日より起算)、その発明者が実用新案または特許について)『特許法第30条第1項の適用』を受けようとする旨を記載した書面』を特許出願と同時に特許庁長官に提出し、

(2) さらに、その発明、考案が『本学会開催の討論会で発表されたものであることを証明する「本学会発行の証明書」を出願の日より30日以内に特許庁長官に提出するとき』は、その発明、考案は新規性を失わないと認められることとなっています。この際、討論会講演要旨集に記載されていることがらに関しては、刊行物と見なされるので当然保護されます。したがって、**討論会講演要旨集に記載のない事柄についての発表を保護の対象としたいときのみ**、別に文書を本学会に提出することになります。それには、

(イ) 発表者は、発表のもとになる「文書」(全部または必要部分)を作成してあらかじめ座長に提出し、発表後、口頭で発表したこと的事实を座長に「確認」してもらいます。(討論会講演要旨集のコピーのみを特許庁に提出される場合は座長の確認は必要ありません。)

(ロ) 座長の確認を受けるには、次の例に示すような「確認書」を発表者が作成して、上述の「文書」と共にあらかじめ座長に提出します。

(ハ) 出願者が本学会発行の証明書の特許庁長官に提出する時には、座長の捺印した「確認書」1通、「文書」2通(正、副)の他、下記の例に示すような「証明書」(学会の控えを含む2通)を作成して、返信用封筒(宛名記入、切手貼付)を同封し、本学会宛にその証明書を請求してください。本学会では、この証明書に、「文書」のうち1通(正)を添付して返送します。

確認書の例	証明書の例
2016年○月○日 一般社団法人日本環境化学学会御中 第25回環境化学討論会 座長○○○ 印 第25回環境化学討論会において、添付の文書のとおり発表があったことを確認します。 記 講演日時: 2016年6月○日 講演場所: 演題番号: 発表者及び演題:	2016年○月○日 特許庁長官 ○○殿 一般社団法人 日本環境化学学会 会長 柴田 康行 印 本学会開催による第25回討論会において○○は添付の文書をもって発表したことを証明します。 記 講演日時: 2016年6月○日 講演場所: 演題番号: 発表者及び演題:

(注)発表者が連名の場合は「確認書」「証明書」「文書」とも全員の名前を記入すること。

タイムスケジュール (諸事情により若干変更される場合があります。最新情報はホームページでご確認ください。)

2016年6月8日(水) 1日目

	口頭発表会場						ポスター会場	企業展示
	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場		
	国際会議場	201A+B	301A+B	302B	302A	303+304	メインホール	
受付(12:00~)								
13:00 ~ 14:45	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	ポスター掲示 閲覧	企業展示
移動・休憩								
15:00 ~ 16:45	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表		
移動・休憩						ポスター セッション (奇数番号) (学生賞審査)		
17:00 ~ 18:30								
18:30 ~ 20:00		自由集会	自由集会	自由集会	自由集会	自由集会		
フリーミキサー								

2016年6月9日(木) 2日目

	口頭発表会場						ポスター会場	企業展示
	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場		
	国際会議場	201A+B	301A+B	302B	302A	303+304	メインホール	
開場・受付(8:30~)								
9:00 ~ 9:30	総会(A会場)						ポスター掲示 閲覧	
9:30 ~ 10:45	5題 口頭発表	5題 口頭発表	5題 口頭発表	5題 口頭発表	5題 口頭発表	5題 口頭発表		
移動・休憩						ポスター セッション (偶数番号) (高校環境化学賞 受賞校)		
11:00 ~ 12:30								
移動・休憩						ポスター掲示 閲覧	企業展示 (終日)	
12:40 ~ 13:40	ランチョンセミナー							
移動・休憩								
13:50 ~ 14:50	日本環境化学会25周年記念講演 I (A会場) 森田 昌敏 先生 (一般社団法人日本環境化学会 名誉会長)							
移動・休憩						ポスター掲示 閲覧		
15:00 ~ 16:00	日本環境化学会25周年記念講演 II (A会場) Dr. Werner Brack (Head of Department, Department Effect-Directed Analysis, Helmholtz Centre for Environmental Research)							
16:00 ~ 16:45	パネルディスカッション(A会場)							

	移動・休憩	
17:00 ～ 18:30	表彰式・受賞講演 (A会場)	
	移動	
19:00 ～ 21:00	交流会 (ホテル日航 4F「朱鷺の間」)	

2016年6月10日 (金) 3日目

口頭発表会場							ポスター会場	企業展示
A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場			
国際会議場	201A+B	301A+B	302B	302A	303+304		メインホール	
開場・受付 (8:30～)								
9:00 ～ 10:00	特別講演 (A会場)						ポスター掲示 閲覧	企業展示
	坂本 和彦 先生							
	(アジア大気汚染研究センター 所長)							
	移動・休憩							
10:15 ～ 12:00	7題 口頭発表	Werner Brack博士 特別セッション	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表	7題 口頭発表		
	移動・休憩							
12:15 ～ 13:15	ランチョンセミナー・昼食							
	移動・休憩							
13:30 ～ 15:00	6題 口頭発表	6題 口頭発表	6題 口頭発表	6題 口頭発表	6題 口頭発表	6題 口頭発表	ポスター撤去 15:00まで	展示撤収 15:00まで
	移動・休憩							
15:15 ～ 16:00	ハイライトセッション・閉会式 (A会場)							